

☆聖書で祈る☆

ルカ 1:46~55 「マリアの賛歌」

46:そこで、マリアは言った。

47:「わたしの魂は主をあがめ、／わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。48:身分の低い、この主のはしためにも／目を留めてくださったからです。……」

ローマ 12: 1~ 2 「聖なるいけにえ」 (本文省略)

1ペトロ 2: 9 「神の民」 (本文省略)

▽参考資料▽

『信徒の召命と使命』第14項

わたしは教皇職についた当初から、第二バチカン公会議にならって、神の民全体の祭司、預言者、王としての尊厳を強調してきました。……第二バチカン公会議は、祭司、預言者(教師)、王であるキリストの使命が教会で受け継がれている事実とこの権能の神秘を思い起こさせました。一人残らず、神の民全体がこの三つの部分からなる使命に参加しているのです。

教会憲章 34 (信徒の共通司祭職)

……信徒はキリストにささげられ聖霊によって塗油されたものとして、霊の果実が自分の中に常により豊かに実るようにするという、すばらしい召命と手段を受けている。かれらのすべての仕事、祈り、使徒的努力、結婚および家庭生活、日々の苦勞、心身の休養を霊において行ない、なお生活のわずらわしさを忍耐強く堪え忍ぶならば、これらのすべてはイエズス・キリストを通して神に喜ばれる霊的供え物となり(1ペトロ 2:5)、聖体祭儀の挙行において主のからだの奉獻とともに父に敬虔にささげられる。このように信徒もまた、いずこにおいても聖なる行ないをもって神に礼拝をささげる者として、世そのものを神に奉獻するのである。

教会憲章 35 (信徒の預言職)

……キリストは信徒を証人に定め、信仰の感覚とことばの恩恵を授けて(使徒 2:17-18、黙示 19:10 参照)、福音の力が家庭と社会の日常生活の中に輝きわたるようにした。……絶え間ない改心の努力と「この世のやみの支配者に反対し、悪魔に反対する」(エフェソ 6:12) 戦いを続けながら、世俗生活の構造を通してそれを表わすようにしなければならない。……

この務めにおいて、特別な秘跡によって聖化される生活上の身分、すなわち結婚生活と家庭生活の重要性が明らかになる。……家庭はその模範とあかしによって世の罪を指摘し、真理を求める人々を照らす。

したがって、信徒は現世的な仕事に従事しているときでも、世に福音を告げるための崇高な働きをすることができ、またそうしなければならない。かれらの中のある者は、聖職者がいないとき、あるいは迫害政権によって妨害されているとき、能力に応じて一定の聖務を補っている。また、かれらのうちの多くの者は、その全力を使徒的活動に傾注している。しかし、信徒のすべてが、世にキリストの国を広め発展させるために協力しなければならない。このために信徒は啓示された真理をより深く理解するよう熱心に努力し、英知のたまものを絶えず神に祈り求めなければならない。

教会憲章 36 (王としての職務に参加する信徒)

……信徒は、世の中に人を罪に押しやるような制度や生活条件があればこれを改善して、これらのすべてが正義の法則に基づくものとなり、また諸徳の実践の妨げよりもむしろ助けとなるように努力しなければならない。そうすることによって、かれらは文化と人間の諸活動に道徳的価値を与えることができる。……

……人間のすべての行為は、たとえそれが現世的な事柄に関しても、神の支配から除外されないものであるから、どのように現実的な事柄においてもキリスト教的良心に従わなければならないことを記憶すべきである。……